

令和4年度第1回愛媛地域医療構想推進戦略会議 議事概要

1 日時 令和4年10月31日（月）19:00～20:40

2 場所 県庁第一別館3階第3会議室

3 出席者 委員8名、地域医療構想アドバイザー2名

4 議事

(1) 講演「公表データを活用した医療提供体制の分析」

○講師から、データ分析に基づく愛媛県全体及び各医療圏域の医療提供体制の特徴について講演

○意見等

(久野アドバイザー) 医師の働き方改革がこのまま進むと、病院は統合して大きくしていく方向に進んでいくのではないかという印象を受けたが、どうか。

(講師) 医師の働き方改革がなかったとしても、医師の高齢化や生産年齢人口の減少により医師の数も減少していくことから、いずれにしても医療提供体制の効率化やある程度の集約・再編は議論にはなっていくと思われる。

(上甲アドバイザー) 医療の地域完結率を上げようとする、病院の再編等を考えない限り難しいのではないかと思うが、どうか。

(講師) 地域完結率は必ずしも100%を目指す必要はなく、完結率を高めるべきものと広域連携で対応すべきものを、各地域の地域医療構想調整会議で話し合っつけていくことが重要。

(杉山委員) 各圏域の解析に加えて、診療科ごとに横断的な解析を行い、関係者がしっかりと話し合っていくことも重要。

(村上座長) 全国を見ると、公立病院と私立病院による再編統合もあるが、こういった事例はどのようなことがきっかけとなっているのか。

(講師) 関係者による勉強会も一つのきっかけとなるが、進めていく際には、行政や医師会、大学病院などが中立的な立場で関与していくことが重要になる。

(2) 地域医療構想について

ア 地域医療構想の概要及び対応状況

○資料2-1から2-2により地域医療構想の概要及び今年度の進め方について説明。資料2-3により再検証対象公立・公的病院に係る検討・取組状況について説明。資料2-4により今年度の各圏域の地域医療構想調整会議の開催結果概要について説明。

イ 最近の国の動き

○資料2-5により医療提供体制改革にかかる今後のスケジュールについて説明。

ウ 病床機能報告

○資料 2-6、2-7、2-8 により、病床機能報告の取りまとめ結果及び定量的な基準による分析結果について説明。

○意見等

(小椋委員) 各医療圏域のデータ分析結果は、各地域の医療機関等に公開されているのか。

(事務局) 愛媛県ホームページに掲載するとともに、医療機関にも直接案内しており、広く閲覧可能としている。

【その他の意見】

(上甲アドバイザー) 各地域の調整会議で講演等を行う際には、各圏域の病院関係者も聞くことができれば、当事者としての意識も高まっていくと思う。

(村上座長) 最近では、新型コロナの影響により調整会議の書面開催が増えており、やむを得ないことではあるが、できるだけ対面で議論することが望ましいと思う。